

オスコイ!のかげ郷



7月3日(日)、さわやかな青空のもと神恵内村の夏を告げる「第33回沖揚げまつり」がイベント広場で開催され、お祭り一番人気のウニ丼販売コーナーでは、長蛇の列が出来るほどの盛況ぶりで、約3千人の来場者が、新鮮な海の幸を味わい楽しい1日を過ごしました。また、神恵内村出身の書道家若山象風による書道ライブでは、たたみ1畳ほどの紙に「夢」「絆」と大書し、見ている観衆からは温かい拍手が送られていました。



※ オスコイとは、鯨漁で網をあげる時に使っていた掛け声。



大人気の『ウニ丼(1,000円)』と、神恵内の前浜で捕れたウニ・エビなど魚介類がたっぷり入った『やん衆鍋(500円。)』ほかにも、ホタテ・イカの炭火焼きや、水産加工品の販売コーナーも大盛況でした。



ステージでは、鯨漁の様子を再現した「沖揚げ音頭」の披露のほか、神恵内小・中学生によるよさこいソーラン演舞や太鼓演奏もありました。



地元産のウニを味わおうと、販売のアナウンスがあるたび行列ができ、次から次へと売れていきました。

うに丼販売時間	
① 10:00頃	700食
② 11:00頃	250食
③ 12:00頃	200食
④ 13:00頃	30食
朝市上場!! 1食 1,000円	